

悠久会東京支部総会のご案内

拝啓 新緑の候、会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて今年度の悠久会東京支部総会を下記の如く開催致します。当日は、本部・母校並びに近隣支部から多数の来賓のご臨席を予定しております。ご多忙とは存じますが、皆様お誘いあわせの上ご出席頂きたくご案内申し上げます。特に、新入会員を迎えられた企業団体におかれましては、新入会員をお誘いの上ご参加下さいますようお願いいたします。なお準備の都合上、5月10日(日)迄に下記のメールアドレスに出欠のご連絡を頂きたく、

(1) 氏名、(2) 卒年、(3) 学科、(4) 出欠 を記入してご連絡ください。

尚、電子メールご利用不可の場合は、同封の葉書にて出欠の連絡を頂きたく宜しくお願い申し上げます。(返信葉書には今回から各自50円切手を貼って投函願います。)

出欠連絡先メールアドレス：**tokyo_adm1@yukyukai.gr.jp**

敬具

記

- 日時 平成21年5月24日(日) 午後1:00～5:00
(一部で、23日(土)開催のご案内でしたが、24日(日)開催となりましたので、ご注意ください。)
- 会場 「キャンパス・イノベーションセンター(CIC)東京」5階 リエゾンコーナー
JR田町駅 芝浦口(東口)より徒歩1分
TEL 03-5440-9081 (新潟大学事務所) URL <http://www.niigata-u.ac.jp/tokyooffice/>
最終頁に案内地図を掲載します。 上記HPの活動内容「東京事務所パンフレット」をクリック
- 会費 6,000円/人
但し、平成21年卒業生は無料、平成元年～20年卒業生は3,000円/人
- 次第
 - 総会 午後1:00～1:50
本部から下記2名の先生方が参加される予定です。
田邊裕治 機械システム工学科教授(院機 S56)
太田雅壽(マツシ) 機能材料工学科准教授(院応化 S46)
 - 講演会 午後2:00～2:40
題目：「安心を感じるために必要なこと」
(正しい知識を身に付け、正しい判断の出来る知恵を發揮出来る脳に日々改造しましょう)
講師：新潟大学自然科学系材料生産システム系列 工学部機能材料工学科
太田雅壽(マツシ) 准教授 (S44 応化、S46 院応化卒)
東洋インキ製造株式会社・技術研究所に勤務経験も有。ご専門は物性物理化学。
……記念写真撮影……
 - 懇親会 午後3:00～5:00

以上

東京支部便り

東京支部長 吉原武夫（機械 38）

アメリカに端を発した世界的な経済情勢の悪化により、日本の企業各社の収益も急激に落ち込み、各社赤字に苦しんでいる状況に只々驚いていますが、会員の皆様如何お過ごしでいらっしゃいますでしょうか？皆様のことでありますからきっとお元気で過ごしのこととお察し致します。

さて、早いもので、原前支部長から支部長を引き継いでから、この5月で丸4年が経過致します。今年は東京支部役員改選の年でもあり、支部長を東福寺新支部長へバトタッチしたいと思えます。一応ご本人には内諾を得ていますが5月開催予定の支部総会にはかり、会員の皆様のご承認を得る予定でいます。私は会社勤務していたこともあり、十分な活動も出来ない内に4年間に過ぎてしまいましたが、何とか役員始め会員の皆様のご協力及びご支援の基に、東京支部を継続出来たことを喜んでおります。皆様のご協力に感謝申し上げます。東京支部として誇れる活動は、囲碁・ゴルフ同好会の活動です。幹事さんのご尽力で各々年2回開催しています。他支部からのご参加も頂いて活発に活動して頂いています。活動の詳細は後に報告記載していますのでご参照願います。ゴルフ同好会の秋の大会では川上勝彦さん（機械39）が見事ホールインワンを達成され、大会に花を添えられたとの情報も頂いています。私は、埼玉支部主催の「ふれあいさいたまウォーキング」や千葉支部の「東葛地区の懇親会」等に何回か参加させて頂きましたが、「若き頃を同じ学び舎で過ごしたという共有財産のもとに、初めてお会いする人ともスムーズに会話が出来るともこれぞ同窓会の賜物」といつも感じて楽しむ事が出来ました。

・支部会報の〈特別寄稿〉を就任後2期目（3年目）を迎えられた工学部の大川秀雄学部長にお願い致しました。大変ご多忙のところ執筆頂き感謝申し上げます。

・5/24 開催予定の支部総会会場は新潟大学東京事務所のある「キャンパス・イノベーションセンター(CIC)東京」5階 リエゾンコーナーで初めて開催致します。この会場はJR 田町駅 芝浦口(東口)から徒歩1分と近く大変便利な所です。参加費も出来るだけ参加し易いようにと、6,000円/1人と致しました。(但し、今年卒業の新入会員は無料とし、平成年度の卒業生は半額とすることにしました。)

本部からは、下記2名の先生に御来賓としてご出席頂く予定です。

田邊裕治 機械システム工学科教授（院機 S56）

太田雅壽(マツシ) 機能材料工学科准教授(院応化 S46)

太田准教授には講演会講師もお願い致しました。

講演会題目：『安心を感じるために必要なこと』と題して、「正しい知識を身に付け、正しい判断の出来る知恵を発揮出来る脳に日々改造しましょう」と、事例を基に講演して頂きます。先生方ともゆっくり談笑出来る良い機会ですので、ご都合の付く方は是非支部総会にご参加下さい。また、前述の通り、若い人に沢山参加して頂きたいとの願いを込めて、会費も半額と新しい試みです。経験豊富な先輩達とも話すのも

結構楽しいものです。若い会員の皆様の沢山のご参加をお待ちします。

支部長を4年間やってみて、種々の問題点があることが分かりましたが、それらを解決出来ないままに引き継ぐ形となってしまいます。

いくつかの問題点の内、下記2点についての概要を記載してみます。

1. 名簿上の会員数が3,600名強と多い割には、会費納入者も少なく、かつ支部総会への参加者も最近では40名弱と少なく、財政的にも年々赤字となって来ており、財務改善が急務な状況です。本件は昨年と同様な状況でした。

2. 東京支部会員数の正確な把握が難しい状況にあります。

会員数の把握は本部作成の会員名簿によるものですが、各個人からの正確な情報提供がないと精度が悪いものになっている感じが致します。勤務している会社か、住居が東京都内にある人を会員カウントしていますが、入社時以降に配属変更や転勤で既に東京支部会員でない会員も含んでいるのではないかと思います（この会員を幽霊会員と称していますが）。特に最近では個人情報保護の観点からも正確な個人情報を把握することが難しい状況にあり、平成年度以降に卒業された方の若い人の名簿上の住所が入学した時の親元の住所になっているケースが多いことも分かりました。

上記問題点の解決案として

1. 財務改善の一つとして、支部総会の案内状の印刷・郵送料にかなり費用がかかっているため、削減出来る方法はないか役員会で種々検討致しましたが、簡単な良い策はなかなか見つかりませんでした。メールの活用案も検討しましたが、メールアドレスの更新等の問題もありなかなか実行に至りませんでした。

現時点では、本部のご了解が得られることが条件ですが、本部の発行している「悠久会時報」に「東京支部総会の案内記事」を掲載して頂いて、郵送費の削減を行ったらとの意見が役員会であり、今後本部と検討して実行に移せば、大幅な経費削減となり財務改善につながると思います。

但し、この場合は例年支部総会は4月か、5月に開催して来ましたが、「悠久会時報」の発行時期からすると、6月か7月頃に開催することも検討せざるを得ません。今後本部とも打合せて決めていきたいと思っております。

今年は、経費削減と煩雑な手間の削減のご協力を得る為に、支部総会への「返信はがき」は各自で切手を貼って投函して頂くように変更させて頂きます。会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

尚、メールをご利用の方はメールにて支部総会への申し込みも出来ますので、メールでの申し込みをお勧めします。ご協力の程お願い致します。

2. 会員名簿の精度向上につきましては詳細は省略しますが、本部の名簿担当の先生方に改善して頂くよう、いくつかの提案をお願い致しました。

以上、東京支部の近況をご報告致しましたが、本年も何卒新支部長のもとで、支部活動にご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。以上

[特別寄稿]

平成21年度新学期を迎えて

新潟大学工学部長 大川秀雄

平成19年4月に学部長に任ぜられて早2年が経ち、この4月から2期目に入りました。この間、学部長として新たな経験を幾つもさせて頂きました。苦労を伴うことが多いのですが、そればかりではありません。悠久会総会や支部総会などで多くの先輩方や卒業生の方々にお会いでき、昔のことや仕事上の話題などいろいろとお聞かせ頂いて、面白い内容であるとともにとても役立つことが多かったと思います。役得かと有り難く思っています。

ところで、この3月23日(月)に朱鷺メッセで举行された卒業式での学部卒業生2,331名中、工学部卒業生は504名(他に3月31日付で1名)でした。当然のことながら9学部中最多で、とても誇らしく思いました。卒業式の模様や下條文武学長の告示などは、4月1日リニューアルされた新潟大学のホームページで是非ご覧下さい。随分と明るく、かつアカデミックな雰囲気のあるホームページになったように思います。

なお、これまでの卒業式では、壇上には学長以下、理事、副学長、学系長、部局長等が居並んでいましたが、今回からは、全学同窓会長、各学部の同窓会長もご一緒することとなりました。さらには、壇上に上がる全員と、卒業証書や修了証書を受領する各学部や研究科等の代表者全員が、新たに制定されたアカデミックガウンを着用しました。壇上の我々は角帽も着用しました。生まれて初めてのことで何か面はゆく思うと同時に、映画のハリーポッターの世界に迷い込んだような不思議な感じでもありました。

さて、このところの理系離れ、工学離れによって、全国的に工学部の入試倍率が低落しており、当学部でも個別入試の前期日程倍率が徐々に下がり、昨年では1.9倍まで落ち込み随分と心配しましたが、お陰様で今期は2.2倍に戻しました。ちなみに、前期・後期日程で合わせて130名の応募増加でした。一人でも多く受験生を獲得すべく、悠久会理事会や全国総会で応援をお願いしているところですが、皆様方の陰の支えがあったものと心から感謝申し上げる次第です。もとより、受験倍率は波を打つことが知られてはいますが、これを機に、一時的な現象とせず上昇傾向へと転じて行きたいと願っていますので、なお一層のご協力をお願い申し上げます。

この4月に迎える新入生は、外国人留学生6名を含む520名(内、県外者が60%で昨年より5%増)と、3年次編入生38名です。定員がそれぞれ、480、20名ですので、かなりオーバーしています。文部科学省から、定員数を超える人数については厳しく指導されているところですが、何とか収まっている状況です。多く合格者を出す理由は、昔と違って合格しても私学等へ向かうために入学を辞退する学生が各学科で数名いるため、安全を見込んで多めに合格者を出してしまうこと、合否の境界近くで有意な差を求める、つまり点数に僅かな差しかないようであればそれらの何人かをまとめて合格にすること、の二つがあります。また、社会的ニーズ、つまり企業等からの求人がかかなり強くある状況ですので、事情が許す範囲で多く採ろうとする意識が働いているようにも思います。100年に一度という経済不況下ではありますが、社会で活躍されている先輩方のお陰で、新潟大学工学部卒業生の力が高く評価されていることの左証かと思えます。

ちなみに、上述した今春の卒業生505名中、大学院進学者は319名でしたので63%にもなり

ます。その内、女子学生の卒業生数が50名で、進学者はちょうど50%の25名でした。その他の卒業生は、特段の理由を持つ人を除いて皆が就職しましたが、内定取り消しはありませんでしたので、嬉しい限りです。ただ、進学者の内27名が他大学の大学院ですので、この点に少し思いが残ります。

工学系教員の移動がこれまでにない大きな規模で3月末にありました。定年や他大学等への移動で14名の先生が去りましたが、4月1日に6名が着任されました。定員削減等がありますので、空いたポストの全てを埋めることはできませんが、できるだけ早く埋めて、教育研究への支障を最小限に止めたいと思います。

嬉しい報告もあります。新年度から、悠久会会員である金子双男教授(自然科学研究科長)が自然科学系長に、同坪川紀夫教授(自然科学系副学系長、地域共同研究センター長)が自然科学研究科長に就かれました。工学部の先生方が、理・工・農学系の全体組織である自然科学系の要職にそれぞれ就かれたことは、セクショナリズム的意図は論外としても、前工学部長の仙石正和教授が昨年2月に新潟大学理事に就任されたことも含めて、大変喜ばしいことでもあります。しかし、平成16年の国立大学の独立法人化以降の大学運営の大変さを考えると、大学内での工学部の置かれた位置の重要さが、これらのことによってむしろ鮮明になったようにも思えます。心して掛からねばと思う次第です。

工学部は大正12年(1923年)の官立長岡高等工業学校の設立から86年の歴史を刻んできていますが、新制新潟大学の発足は昭和24年(1949年)ですので、今年がちょうど創立60周年記念となります。そのための記念行事が、10月18日(日)を中心に企画されています。当日の午後に市内のホテルで記念式典が行われ、午前中がホーム・カミング・デーと聞いているので、卒業生の方々が挙げてキャンパスを訪れて下さればと、今からご期待申し上げているところです。

また、正確な日程については承知していませんが、11月頃に東京・上野の国立科学博物館で新潟大学フェスティバルの開催が予定されています。毎年全国から何校かが選ばれて、約1週間、大学の特徴や研究内容などを広く知ってもらうためのイベントが行えるのだそうです。大学の宣伝の場として使っても構わないとのことで、60周年記念の一環として大いにこの機会を活用して、新潟大学を首都圏の皆さんに広く知ってもらうように努めるとのことで、「上野の山を占拠する」積もりで取り組むとの大学執行部の檄が飛んでいます。今話題のトキをメインに据えて、「自然との調和」や「自然再生」などをテーマに新潟大学の特徴や各学部の特色や研究テーマなど、盛り沢山の内容になると思われます。工学部関係では、間瀬教授の研究グループが取り組んでいる、災害時用のアドホック通信関係の気球船型の大きな気球が揚がることになると思います。黄色地に大きく大学名が入っていますので、遠くからもよく見えます。これが幾つも上野の山に揚がったら、さぞかし話題となるでしょう。都会では法の規制が厳しいですから、どうなるかは分かりませんが、考えるだけでも今からワクワクします。また、農学部産の野菜や米などを配布するなり、安く販売するなどについて、小生から提案していますので、これもどうなるか分かりませんが、実現したら面白いと思います。ともあれ、これから色々と広報されると思いますので、宜しくお願い致します。ホーム・カミング・デーや、新潟大学フェスティバル等で皆様方にお会いできることを楽しみにしながら、とりとめのない乱文を閉じさせていただきます。



大川秀雄工学部長

悠久会東京支部囲碁同好会－節目の15回開催－

幹事 田中公紀（電気51）

みなさんこんにちは。悠久会東京支部囲碁同好会は、平成14年3月に発足し、主催は東京支部であっても、他支部からも多くの方々に参加していただいております。今年度は、新たに3名の方が加わり、23年卒から55年卒まで、総勢44名の同窓棋士のみなさんにより、白熱した対戦を展開しており、過日の3月21日の大会で、第15回開催との節目を迎えました。

大会は、八重洲にあります「いずみ囲碁ジャパン」にて年2回、3月、9月の第3土曜日に開催しておりますが、第15回大会では、28名の参加により、対局は一人4局で、大変盛大な会となりました。

また、大会後に行われる懇親会にも多数の参加があり、受賞者の挨拶、大会の反省、上段者や下位者の心得と打ち方、他の支部同好会の状況、など意見交換をしながら、楽しく有意義なイベントとなっております。本同好会は同窓活動のひとつのあり方として恒例になっております。

さて、今回初参加（電子54年卒）の方に、大会後にメールをいただきましたのでご紹介いたします。

「今回初参加させていただきました。

大会では、暖かくお迎えいただき、おかげさまで大変楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

先輩方は囲碁をやられているせいか非常にお元気な様子で感心致しました。また、先輩方との対局はとても勉強になり、まだまだ勉強が足りないと感じました。次回もまた参加したいと思いますので、今後ともよろしくお願い致します」

本同好会は、世代の壁を越え、和気藹々とした運営になっております。

これからも新規会員は大歓迎でありますので、参加希望の方は、幹事の田中（Tel.044-933-9686、t-hiroki@po.ntts.co.jp）までご連絡をお願い致します

ゴルフ同好会

事務局 原 宏（電気35）

平成20年度は例年どおり、4月、10月の2回、これもすっかり定着した川崎国際生田緑地ゴルフ場で開催しました。春は伏木さん（応化40）、秋は大石さん（精密30）がそれぞれ優勝されました。秋の大会では川上勝彦さん（機械39）が見事ホールインワンを達成され、大会に花を添えました。

川上さんにはコンペ参加者有志で、埼玉支部長の田島さんのお世話で、レーザ彫刻した川上さんのスイング姿とお顔の入った記念の盾をお贈りしました。

今年は13回目を迎えますが、毎回12名程度ですので、是非新しい方の参加を歓迎したいと思っています。希望の方は事務局までご連絡ください。

編集後記

東京支部の皆様、お元気にお過ごしでしょうか？

今回は吉原支部長よりの「支部便り」を掲載させて頂きました。また、母校から大川先生に特別寄稿を頂きました。囲碁同好会・ゴルフ同好会の活動報告も頂いております。

今年は花冷えの桜でしたが、無事、春を迎えることができたでしょうか？ 5月24日（日）の支部総会では、講演も用意しており皆様の積極的なご参加をお待ちしております。仕事と離れて恩師、同窓生と親交をあたためるのも良いことではないかと思えます。

（倉田盛彦・電子54）

支部会費納入のお願い

東京支部の年会費は2千円です。支部総会の案内や会報の作成、印刷等に充当します。同封の郵便振込用紙をご利用下さい（振込手数料無料）。健全な支部活動を継続するためにも、支部会員の証として是非納入して頂きますようお願い申し上げます。

< 郵便局振替貯金口座 >

東京 00130-2-74881 加入者名 新潟大学工学部同窓会東京支部

< 銀行口座 >

みずほ銀行吉祥寺支店 普通 2387528 新潟大学工学部同窓会東京支部 代表 林 昭彦

支部総会会場案内図

